

令和3年度の大雪に関する
検証結果報告書

令和4年11月

江別市

目 次

1	検証の目的	1
2	令和3年度の大雪の概要	2
	（1）短期集中的な大雪について	2
	（2）積雪・降雪状況等について	4
	（3）除排雪事業の実施状況について	5
3	大雪による影響	6
	（1）道路除排雪の遅れ	6
	（2）道路の通行止め	8
	（3）公共交通機関の運休	8
	（4）小中学校の休校	9
	（5）自治会排雪の延期	9
	（6）ごみ収集の休止	10
	（7）家屋等からの落雪	10
4	令和3年度の主な対応	11
	（1）江別市雪害対策本部会議	11
	（2）道路幅員確保への取り組み	11
	（3）国や北海道等による支援	12
	（4）緊急投雪	13
	（5）雪堆積場の臨時対応	13
	（6）通学路の緊急点検	14
	（7）市民への情報発信の強化	14
	（8）災害時避難行動要支援者等への除雪支援	15

5	課題と今後の対応	16
(1)	今後の対応の検討にあたって	16
(2)	除排雪体制の強化	19
(3)	情報発信の強化	24
(4)	通学路における児童生徒の安全確保	27
(5)	路線バスの運行	28
(6)	ごみ収集	29
(7)	庁内の情報共有・連携の強化	30
6	継続検討事項	31
(1)	デジタル化を活用した取り組み	31
(2)	民間事業者との連携	31
7	今後について	32
8	さいごに	33

令和3年度の大雪に関する検証結果報告

1. 検証の目的

令和3年度の冬は想定を大きく超える記録的な大雪となり、除排雪作業が追い付かず、市内各所での渋滞の発生や公共交通機関の運休、自治会排雪の遅れなど市民生活へ大きな影響が生じたこととなりました。

このことから、市では、昨年度の大雪時に生じた諸課題を抽出し、今後の大雪時の対応について検討しました。

検討結果は、今後、除排雪事業を始めとする各行政サービスに反映し「市民の安全・安心な冬の暮らしの確保」につなげていきます。

目的

市民の安全・安心な冬の暮らしの確保



歩行者用信号機の高さまで積みあがった道路の雪山

2. 令和3年度の大雪の概要

(1) 短期集中的な大雪について

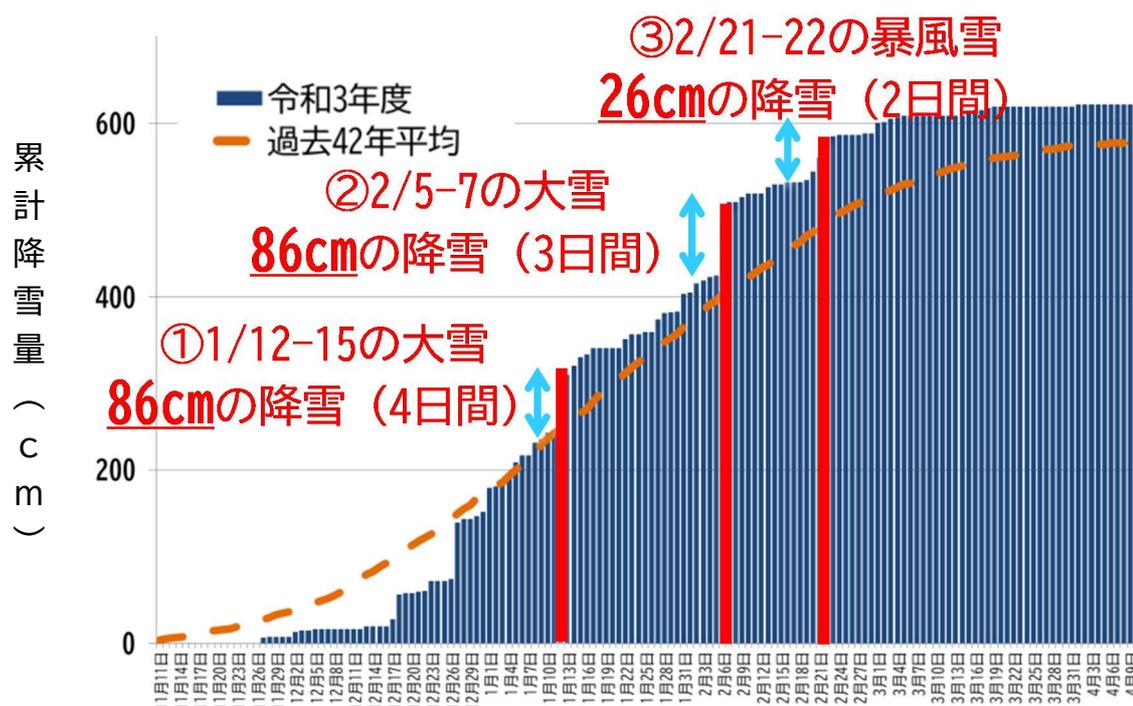
令和3年度は、11月27日に積雪を観測し、断続的な降雪と雪解けが繰り返され、本格的な根雪は12月17日からとなりました。

1月～2月は、計3回にわたり短期集中的な大雪、暴風雪に見舞われました。

	1/12～1/15の 大雪	2/5～2/7の 大雪	2/21～2/22の 暴風雪
降雪量 (cm)	86cm(4日間)	86cm(3日間)	26cm(2日間)
積雪量 (cm)	106cm(1/14) 過去42年平均比 約1.4倍	172cm(2/7) 過去42年平均比の 2倍以上 観測史上最大値を 更新	130cm(2/22) 過去42年平均比 約1.4倍

※ 土木事務所観測

■令和3年度の累計降雪量の推移グラフ



■ 令和3年度の積雪量の推移グラフ

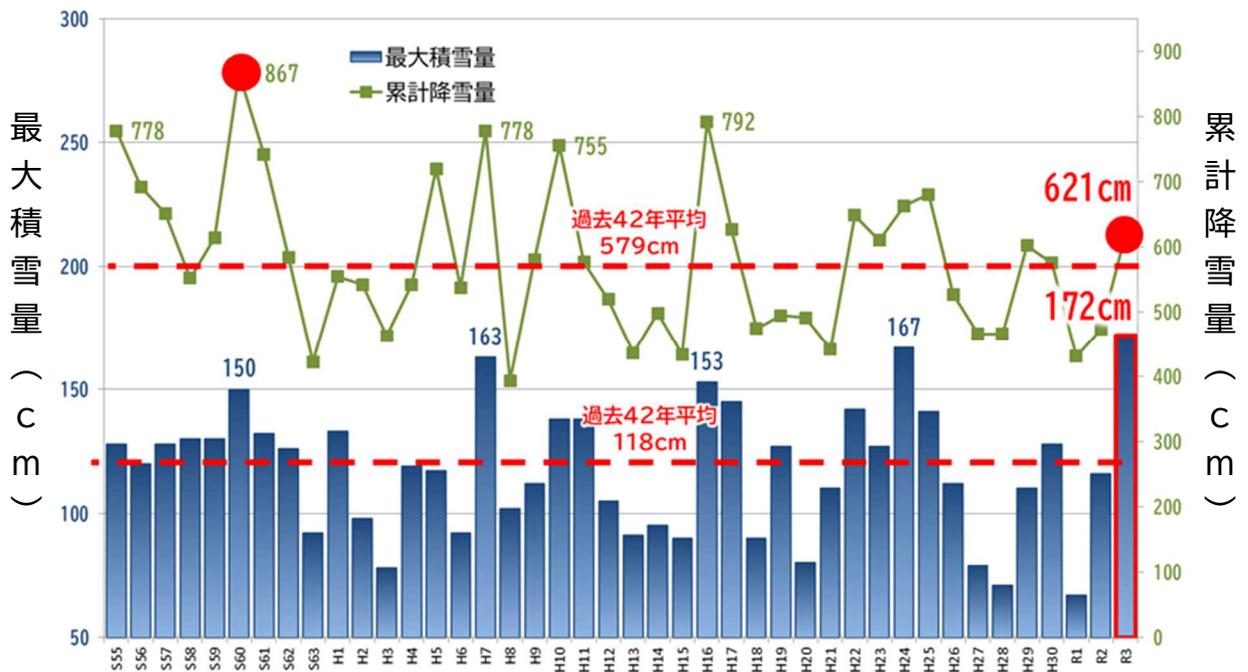


短期集中的な大雪により埋まった車両

(2) 降雪・積雪状況等について

令和3年度の降雪・積雪状況は、累計降雪量が621cmであり、例年に比べて、やや多い程度にも関わらず、1月・2月の3回にわたる短期集中的な大雪、暴風雪の影響により、最大積雪量は突出して多く172cmとなり、観測を開始した昭和55年以降の42年間の記録の中で、過去最大を更新しました。

■過去42年間(※)の累計降雪量と最大積雪量の推移



■ 歴代の累計降雪量・最大積雪量

累計降雪量 歴代TOP5(※)

順位	年度	累計降雪量
1位	昭和60年度	867cm
2位	平成16年度	792cm
3位	昭和55年度	778cm
4位	平成7年度	778cm
5位	平成10年度	755cm
~~~~~		
14位	令和3年度	621cm
平均(42年間)		579cm

#### 最大積雪量 歴代TOP5(※)

順位	年度	最大積雪量
1位	令和3年度	172cm
2位	平成24年度	167cm
3位	平成7年度	163cm
4位	平成16年度	153cm
5位	昭和60年度	150cm
平均(42年間)		118cm

土木事務所観測

※ 観測を開始した昭和55年からの記録

### (3) 除排雪事業の実施状況について

令和3年度は、市内の生活道路の除雪は16回[※]、幹線路線の除雪は23回[※]出動しました。回数は例年と同程度でしたが、短期集中的に大雪が降ったため運搬排雪量は過去最大となりました。

幹線道路排雪については、12月27日から雪堆積場への運搬路やバス路線などを中心に実施しました。

また、自治会排雪については例年並みの104自治会から申し込みがあり、1月24日から開始し、3月11日に完了しました。当初の予定(3月2日)から9日間作業期間が延びました。

※ 部分出動や路面整正を含んだ回数(実施延長を回数に換算)

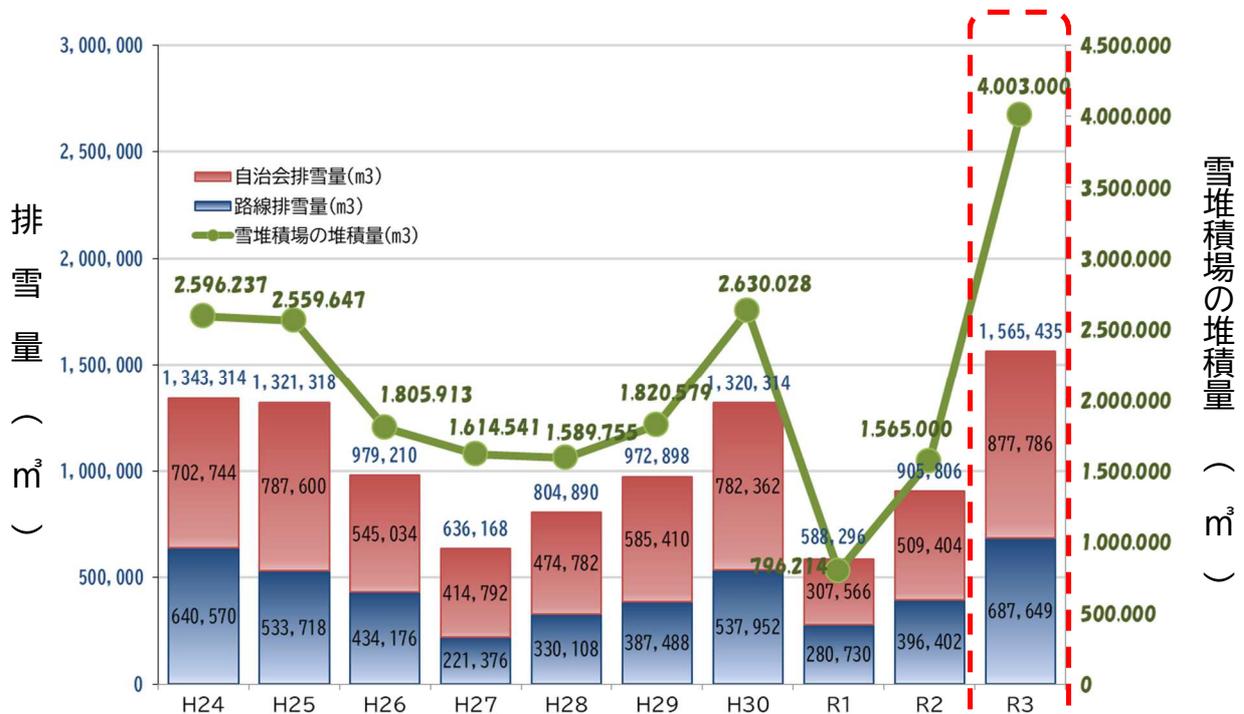
#### ■ 除排雪事業の実施状況

除 雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内一斉出動の初回出動 12月18日</li> <li>・生活道路の除雪出動回数 16回[※]</li> <li>・幹線道路の除雪出動回数 23回[※]</li> </ul>
幹線道路排雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月27日開始</li> <li>雪堆積場への運搬路やバス路線などを中心に実施</li> </ul>
自治会排雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・104自治会</li> <li>・1月24日開始、3月11日完了</li> </ul>



除雪作業の状況

#### ■ 排雪量・雪堆積場の堆積量の推移



・排雪量  
・雪堆積場の堆積量

過去10か年で  
最 大

### 3. 大雪による影響

1月・2月の3回にわたる短期集中的な大雪、暴風雪により、除排雪体制の限界を超えたことから、市民生活へ様々な影響が生じました。

#### (1) 道路除排雪の遅れ

令和3年度の降雪は、これまでにない降雪パターンであったことや、1月中旬の降雪では重く湿った雪が降った後、強固に固まり、車道が一気に閉塞し幹線道路排雪が進まない中、更なる降雪により現行の除排雪体制（除排雪機械・オペレーター等）の限界を超えたことから、市内各所において道路幅員の狭窄や、路面状況の悪化により車両の交差が困難な状況が発生し、バス交通やごみ収集等にも大きな影響が生じました。

■ 降雪前の車道状況



■ 大雪時の車道状況



■ 降雪前の歩道状況



■ 大雪時の歩道状況



■ 除排雪に関する苦情件数の推移



市民生活に  
大きな影響

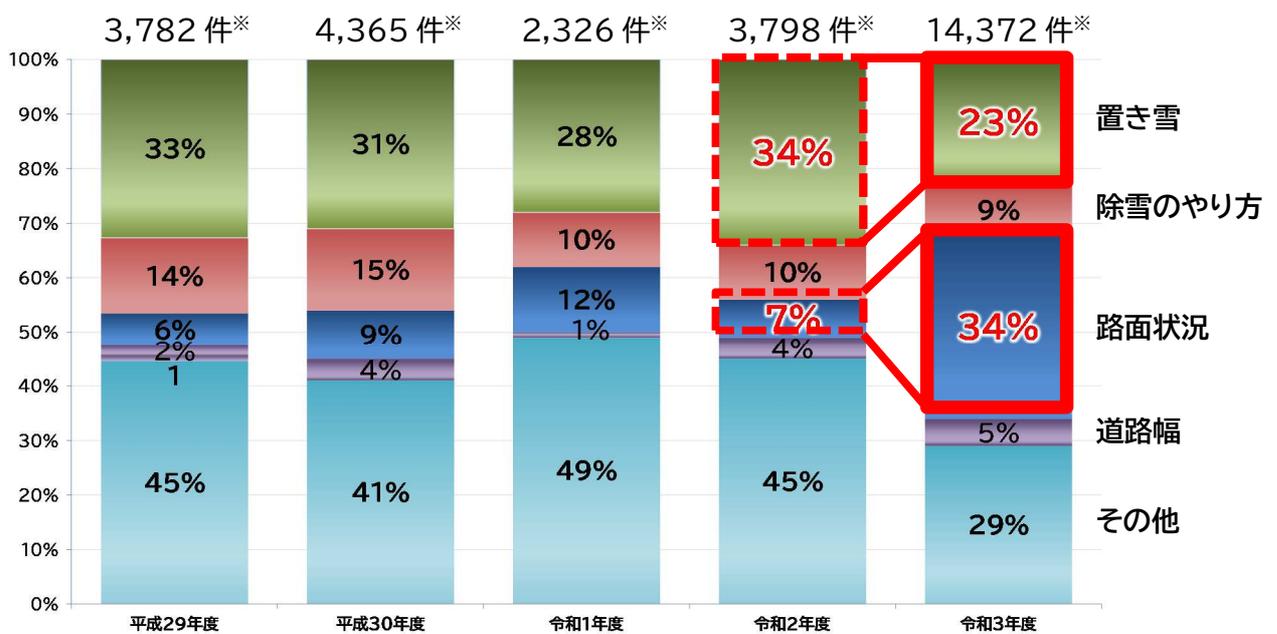
## 除排雪に関する苦情の内訳

令和3年度の降雪は、これまでになかった降雪パターンであったことなどから、苦情の傾向も、例年と異なる状況でした。

例年は、「置き雪」に関する苦情が多く、全体の苦情件数の約3割程度を占めていましたが、昨年度は、ザクザク路面やすり鉢状の路面などに関する「路面状況」についての苦情が多くありました。

令和3年度の「路面状況」に関する苦情は、約34%であり、前年度が約7%であることと比較すると、約5倍の増加となりました。

### ■ 除排雪に関する苦情の内訳の推移



※ 土木事務所・除雪センターの受付件数。

## (2) 道路の通行止め

2月21日・22日には八幡、美原地区において暴風雪が発生し、道路状況の悪化、視界不良のため、八幡8号道路及び篠津美原南8号道路では通行止めを実施しました。

八幡8号道路では、ごみ収集車や一般車両など計18台、篠津美原南8号道路では一般車両5台が立ち往生したため、市危機対策・防災担当や消防本部、警察等との連携のもと、車両の救出作業を行いました。

車両の救出にあたっては、悪天候による二次被害の防止や天候の回復に時間を要したことから、安全確保のため、車両内にいた方々には自治会館や周辺の住民宅へ一時的に避難していただきました。

車両の救出は21日夜中から開始し、22日正午過ぎに全ての車両の対応が完了したため、道路状況の安全性を確認し通行止めを解除しました。



通行止め時の暴風雪の状況

## (3) 公共交通機関の運休

1月・2月の3回の短期集中的な大雪による、気象状況、道路状況の悪化により、鉄道や路線バスが運休となり、市民生活に大きな影響が生まれました。

また、一部のバス路線においては、運休期間が長期化した路線もありました。

### ■ 全路線運休となった日数

中央バス	2日間
JRバス	1日間
夕鉄バス	4日間

### ■ 道路状況が悪化したバス路線



## (4) 小中学校の休校

昨年度は、大雪や暴風雪の影響により、市内の小中学校では登下校時間の変更や、臨時休校を行いました。

2月21日の暴風雪時は、全市的に通学路の安全性の確保が難しい状況であったため、市内全ての小中学校全25校が臨時休校となりました。

### ■ 休校等となった学校数

日付け	臨時休校	登下校時間 変更
12月1日	-	2校
1月14日	1校	2校
2月7日	1校	2校
2月21日	<b>25校(全校)</b>	-
2月22日	11校	5校



雪で埋まった通学路

## (5) 自治会排雪の延期

自治会排雪は、1月24日から開始しましたが、大雪や暴風雪の影響による道路状況の悪化や、排雪量の増加等により、日程が延期し、当初は3月2日に完了する予定でしたが、3月11日に完了し、全体で9日間の延期となりました。

また、自治会排雪の日程変更が生じる際の連絡方法が、自治会担当者への電話連絡を基本としていたため、自治会内にうまく伝わらないケースが生まれました。



自治会排雪の状況 ①



自治会排雪の状況 ②

## (6) ごみ収集の休止

道路状況の悪化、悪天候による八幡8号道路（環境クリーンセンターへつながる道路）の通行止め、自治会排雪の日程変更等の影響により、ごみ収集を休止する事態が発生しました。

また、ごみ収集が休止・延期となった際に、休止情報が市民の皆さまにうまく伝わらないケースが生じました。



雪で埋まったごみステーション

## (7) 家屋等からの落雪

道路に近接する家屋等に多くの雪が堆積し、家屋が倒壊する危険性や落雪による歩行者への危険性が生じました。



危険な家屋の状況

## 4. 令和3年度の主な対応

### (1) 江別市雪害対策本部会議

江別市地域防災計画の規定に基づき、災害級の大雪に関する情報収集及び今後の対応方針について協議するため、「江別市雪害対策本部会議」を設置しました。

#### ① 開催経過

- ・第1回 令和4年2月7日
- ・第2回 令和4年2月21日
- ・第3回 令和4年2月22日 計 3回開催

#### ② 目的

- ・庁内の情報共有
- ・今後の対応の協議

#### ③ 協議・決定事項

- I. 幹線道路、バス路線や通学路等をはじめ主要な道路について、国や北海道への応援要請等も含め除排雪体制の強化を図るほか、市民への積極的な情報発信を行うこと
- II. 暴風雪に伴う八幡8号道路、篠津美原南8号道路の通行止めと避難者への対応について
- III. 災害時避難行動要支援者等への対応について
- IV. 暴風雪により交通障害が発生した場合の対応について

### (2) 道路幅員確保への取り組み

#### ① 幹線道路排雪

- ・雪堆積場への運搬路や幹線道路、バス路線などを優先して、運搬排雪を実施しました。
- ・上下線の片側のみワンカット排雪*も緊急的に併用することにより、作業延長の延伸に努めました。
- ・除排雪機械や市職員を含め、人員を可能な限り確保し、排雪部隊を追加しました。

#### ② 拡幅除雪

- ・車道側の雪山を歩道ロータリで裾切りを行い、走行が可能な車道幅員の確保に努めました。
- ・大型ロータリと除雪ドーザによる大規模な拡幅除雪も併せて実施しました。



大型ロータリによる拡幅除雪の状況



運搬排雪の状況

※ ワンカット排雪・・・通常時の排雪は、車道脇に堆積した雪山を取り崩し排雪するが、一日の運搬排雪の作業量が限られていることから、作業延長を延伸するため、雪山の部分的な排雪により、最低限の車両通行幅を確保する排雪方法。

### (3) 国や北海道等による支援

江別市雪害対策本部会議における決定に基づき、2月9日に、市長より国や北海道に対して、江別市の災害級の大雪の状況を伝え、除排雪体制の強化など、支援策の検討について要請しました。

その結果、北海道開発局札幌開発建設部より2月12日夜から19日朝にかけて、除排雪機械（大型ロータリ、除雪グレーダ、除雪ドーザ、ダンプトラック）と作業員（オペレーター、交通誘導員等）を含めて、運搬排雪の支援を受けました。なお、運搬排雪にあたっては、市が所有する大規模未利用地の活用について検討し、江別高校跡地を雪の堆積場として利用することにより、運搬排雪の効率化を図りました。

また、北海道空知総合振興局札幌建設管理部からも、2月15日夜から17日朝まで、除排雪機械と作業員を含めて、運搬排雪の支援を受けました。

更に、市外の事業者より、1月24日夜から27日朝まで、また、2月15日夜から18日朝までの2回にわたり、除排雪機械と作業員を含めて、運搬排雪の支援を受けました。

これらの支援により、市内道路の運搬排雪が大きく進捗しました。

① 国による支援	
・2月12日夜～19日朝	運搬排雪の支援(除排雪機械・作業員)
② 北海道による支援	
・2月15日夜～17日朝	運搬排雪の支援(除排雪機械・作業員)
③ 市外事業者による支援	
・1月24日夜～27日朝	
・2月15日夜～18日朝	運搬排雪の支援(除排雪機械・作業員)



国による運搬排雪の支援状況



北海道による運搬排雪の支援状況

## (4) 緊急投雪

雪堆積場は、広大な面積を要し、夜間に頻繁にダンプトラックが往来する施設であることから、その性質上、一般的には、郊外部に配置しているため、運搬排雪を行うダンプトラックによる市街地との往来に時間を要します。

このことから、排雪作業の進捗を図るため、市街地内の公共施設のうち、投雪による破損などの影響の少ない施設について、各施設管理者と協議し、緊急措置として都市公園・都市緑地の一部、江別高校跡地などの大規模未利用地の一部への投雪を行いました。



公園への投雪状況(かわなか公園)

## (5) 雪堆積場の臨時対応

雪堆積場については、排雪量の増加や雪堆積場の利用状況を踏まえ、開設時間を延長したほか、新たに上江別第二雪堆積場を臨時開設しました。また、国が管理する石狩川雪堆積場については、北海道開発局札幌開発建設部江別河川事務所と協議し、堆積エリアの拡張や雪の堆積高さの嵩上げを実施するなど、臨時的な対応を行いました。

### ① 1月18日～22日

・大麻13丁目雪堆積場

▼ 通常の開設時間：9時～18時  
**3時間延長** → 開設時間：9時～21時

### ② 2月10日～17日

・石狩川・大麻13丁目・早苗別雪堆積場

▼ 通常の開設時間：9時[※]～18時  
**2時間延長** → 開設時間：9時[※]～20時

### ③ 3月6日～

・上江別第二雪堆積場

▼ **臨時開設**  
 ※ 石狩川雪堆積場の受入開始時間は6時から



石狩川雪堆積場



大麻13丁目雪堆積場

## (6) 通学路の緊急点検

短期集中的な大雪後の1月18・19日及び2月8・9日に、小学校の通学路のうち幹線道路の交差点の歩道を対象に、教育委員会と建設部の合同で、初めて緊急点検を行いました。

緊急点検では、点検時に危険であると認識された箇所について、歩道や横断歩道への砂まきや凸凹した歩道路面の盛り上がった雪を除去し、通学路の安全確保を図りました。



通学路への砂まきの様子



通学の様子

## (7) 市民への情報発信の強化

道路の除排雪情報については、市民の皆さまより実施状況が分からないとの声や、情報発信についての要望があったことから、情報発信の強化に取り組みました。

市ホームページにおいて、1月14日に道路除排雪状況について掲載し、1月19日からは新たな取り組みとして、当日朝の主な除排雪作業内容（幹線道路排雪、拡幅除雪等）の掲載を始めました。

1月21日、2月21日には、「除排雪に係る市長の緊急メッセージ」を発信し、市民の皆さまに不要不急の外出の自粛についてお願いし、また、2月7日には観測史上最大の積雪深を記録した大雪に関する降雪状況、除雪作業について説明するとともに、改めて不要不急の外出の自粛についてお願いしました。



HPによる「市長の緊急メッセージ」

## (8) 災害時避難行動要支援者等への除雪支援

例年になく大雪により、住宅敷地内にも多くの積雪があったことから、一人暮らしの高齢者の方々の状況が心配されました。

このため、各自治（連合）会長、民生・児童委員連絡協議会に災害時避難行動要支援者等宅の見回りを依頼し、必要に応じて市職員による現地調査と除雪支援を行いました。

### ■ 災害時避難行動要支援者等宅への除雪支援の概要

- ① 実施期間：令和4年2月8日から3月25日まで
- ② 支援対象：災害時避難行動要支援者等宅（自治会、民生・児童委員から要請のあった住宅）
- ③ 支援内容：家の周囲の積雪状況の調査と避難路の確保  
暖房の給排気筒等の点検及び給排気筒周りの雪の除去
- ④ 実施体制：市職員の直営による支援体制（3人×2チーム※）
- ⑤ 支援実績：15回

※ 各部署ローテーションにより対応



支援状況 ①



支援状況 ②

## 5. 課題と今後の対応

### (1) 今後の対応の検討にあたって

今後の対応の検討にあたっては、除排雪事業を実施している江別環境整備事業協同組合は元より、市内の関係部署や市民の皆さま、各小中学校、バス事業者など、除排雪に係る多くの方々と協議し、検討を進めました。

#### ① 江別市雪対策庁内会議

令和3年度の大雪を踏まえた雪対策に係る課題について、道路除排雪業務を所管する建設部が抱える問題だけではなく、庁内各課が抱える課題等について抽出し、全庁的な情報共有と共通認識を持ち、災害級の大雪時に、どのような対応を取ることができるか等について検討するため、「江別市雪対策庁内会議」を開催しました。

また、庁内における部長職による会議及び次長職による会議等においても、今後の対応について議論してきました。

#### ■ 江別市雪対策庁内会議の概要

##### ・目的

- I. 令和3年度の大雪に伴う庁内各課の問題点・課題等の情報共有と共通認識を図ること
- II. 全庁的な対応策の検討及び体制の再構築により総合的な雪対策の推進を図ること

##### ・構成員：16名（委員13名+オブザーバー3名）

区分	所属部	職名	区分	所属部	職名	
委員	総務部	参事（危機対策・防災）	委員	水道部	下水道施設課長	
	企画政策部	企画課長		建設部	土木事務所	土木事務所長（座長）
		政策推進課参事（公共交通）				管理課長
	生活環境部	市民生活課長				建築指導課長
	経済部	商工労働課長	土木事務所道路管理課長 兼雪対策課参事（除排雪計画）			
	オブザーバー	健康福祉部	介護保険課長	総務部	財務室契約管財課長	
		教育部	総務課長	生活環境部	環境室廃棄物対策課長	
消防本部		管理課長	教育部	学校教育支援室教育支援課長		

- ・開催経過：第1回 4月20日 課題の抽出  
第2回 7月14日 課題対応の検討  
第3回 8月30日 課題対応の取りまとめ

- ・検討方針：災害級の大雪時には除排雪体制に支障が生じることから、道路の除排雪作業が困難な状況となった際に、市民生活への影響を抑えるために、庁内各部署ができる対応策を検討すること

##### ・検討項目：I. 共通事項

➡ 情報共有、情報発信、役割分担

##### II. 個別事項

➡ バス運休、自治会排雪、ごみ収集、通学路・学校周辺の除雪



雪対策庁内会議の開催状況

## ② 除排雪三者懇談会

より良い除排雪の推進に向けて、市民・事業者・市の三者が、除排雪業務の課題等について意見交換を行うため、毎年、市内4地区で除排雪三者懇談会を開催しています。

令和4年度は、「令和3年度大雪対応と改善策の検討状況について」を議題の一つとして開催し、三者で意見交換を行いました。

### ■ 除排雪三者懇談会の概要

- ・ **目的**：市民・事業者・市の三者が除排雪業務の課題等について意見交換を行い、より良い除排雪の推進を図ること
- ・ **出席者**：Ⅰ. 市民（3地区自治会連絡協議会、豊幌両自治会連絡協議会）  
Ⅱ. 事業者（江別環境整備事業協同組合）  
Ⅲ. 江別市（建設部土木事務所）
- ・ **議題**：Ⅰ. 令和3年度大雪対応と改善策の検討状況について  
Ⅱ. 自治会排雪について
- ・ **開催経過**：Ⅰ. 野幌地区 9月27日 開催（野幌公民館）  
Ⅱ. 大麻地区 10月6日 開催（大麻公民館）  
Ⅲ. 豊幌地区 10月7日 開催（豊幌地区センター）  
Ⅳ. 江別地区 10月11日 開催（コミュニティセンター）



除排雪三者懇談会の開催状況

## ③ 校長会議・教頭会議

除排雪に係る小中学校の通学路の安全確保について、市と市内各小中学校における情報共有と共通認識を図り、今後のより良い除排雪の推進を目的に、江別市小中学校長会が開催する校長会議及び江別市小中学校教頭会が開催する教頭会議において、道路除排雪業務を所管する建設部が除排雪業務の概要等について説明するとともに、各小中学校の学校長・教頭と意見交換を行いました。

- ・ **開催経過**：Ⅰ. 校長会議 10月13日 開催  
Ⅱ. 教頭会議 10月18日 開催

#### ④ 江別市地域公共交通活性化協議会

江別市地域公共交通活性化協議会において、バス事業者より除排雪体制に対する要望を受けるとともに、各委員へ昨年度の災害級の大雪に対する除排雪の実施状況等について説明し、情報共有と共通認識を図りました。



地域公共交通活性化協議会の開催状況

・開催経過

令和4年6月29日 市民会館37号

・委員

区分	所属	役職
市職員	江別市	企画政策部長
公共交通事業者	ジェイ・アール北海道バス㈱	厚別営業所長
	北海道中央バス㈱	江別営業所長
	夕張鉄道㈱	野幌営業所長
	札幌地区バス協会	参与
	(一社)札幌ハイヤー協会	専務理事
	北海道旅客鉄道㈱	江別駅長
	道路管理者	国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部札幌道路事務所
	北海道空知総合振興局 札幌建設管理部当別出張所	所長
	江別市建設部土木事務所	所長
公安委員会	札幌方面江別警察署	交通課長

区分	所属	役職
地方公共交通の利用者	江別市自治会連絡協議会	理事
	江別市女性団体協議会	事務局長
	江別市社会福祉協議会	事務局長
	江別市第一地域包括支援センター	管理者
	市民公募	-
	市民公募	-
	学識経験者	北海道大学工学研究院 土木工学部門
	北海道情報大学経営情報学部	准教授
その他市長が必要と認める者	国土交通省北海道運輸局 札幌運輸支局	首席運輸企画 専門官
	北海道地方交通運輸産業 労働組合協議会バス部会	幹事
	北海道石狩振興局地域創生部 地域政策課	主幹

#### ⑤ 市長との対話集会（3地区自治会連絡協議会主催）

3地区自治会連絡協議会が主催する「市長との対話集会」において、市長提案テーマとして「大雪時のこれまでの対応と今後の対応」について説明し、市長と3地区自治会連絡協議会が除排雪対策について意見交換を行いました。

・開催経過

- I. 大麻地区 10月31日 大麻公民館
- II. 江別地区 11月14日 コミュニティセンター
- III. 野幌地区 11月21日 野幌公民館



市長との対話集会の状況(大麻地区)

## (2) 除排雪体制の強化

### 昨年度の課題

3回の短期集中的な大雪・暴風雪により、市内全域の道路が一気に閉塞し、除排雪体制が限界を超えたことから、市内各所で道路幅員の狭窄や路面状況の悪化により、車両の交差が困難な状況が発生しました。

### 今後の対応 1 通行の確保を優先する路線の検討

これまでは、雪堆積場に繋がる路線を最優先としつつ状況に応じて運搬排雪を実施していましたが、今後は、これまでの対応に加えて、昨年度の災害級の大雪時の道路交通状況や、バスの運休状況などを踏まえ、除排雪事業者やバス事業者から聞き取りを行い、通行の確保を優先する路線を明確化することにより、安全で円滑な交通の確保に努めます。

#### ■通行の確保を優先する路線

##### ① 雪堆積場に繋がる路線

- ・雪堆積場に繋がる路線の通行を確保しなければ、他の路線の運搬排雪を進めることができません。このことから、市内の運搬排雪を円滑に行うため、雪堆積場に繋がる路線の通行確保を最優先します。

##### ② 主要な東西交通を確保する路線

- ・市内3地区を横断的に連絡し、札幌方面、岩見沢方面への東西交通を確保することは、市内全体の円滑な交通に必要不可欠です。このことから、東西交通を担う路線は重要な路線として優先します。

##### ③ 通行の確保を優先するバス路線

- ・昨年度の長期に渡るバスの運休状況を踏まえ、バス事業者が重要と認識する路線を聞き取り、通行の確保を優先します。

###### I. 駅と繋がるバス路線

交通結節点となる、大麻駅・野幌駅・江別駅と繋がる路線

###### II. 地域の孤立を防ぐバス路線

文京台方面や東光町方面などの地域の孤立を防ぐ路線

###### III. 通行が困難になりやすいバス路線

大雪時に、バスの通行ができなくなることが多い路線

## ■運搬排雪の実施路線

運搬排雪の実施路線については、「通行の確保を優先する路線」の優先を基本としますが、次に示す要素を総合的に判断し市内幹線道路の実施路線及び実施時期について適宜決定します。

### 【総合的な判断の検討要素】

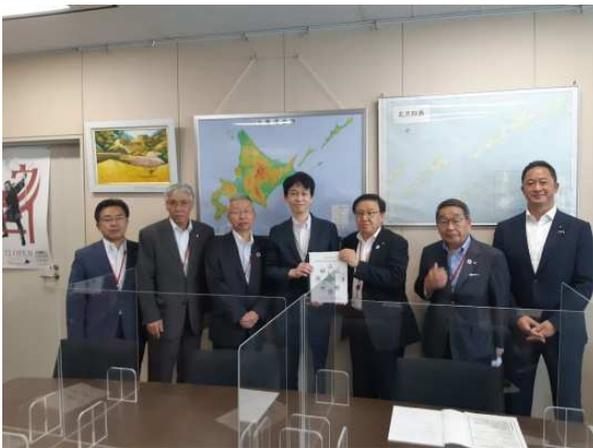
- ①路線の重要性（雪堆積場への運搬路、バス路線、公共施設周辺等）
- ②通学路における歩道の有無
- ③車道走行幅員の状況
- ④雪堤状況

## 今後の対応 2 国や北海道等による支援体制の強化

昨年度の災害級の大雪時は、国や北海道、市外事業者へ除排雪の支援を要請し、運搬排雪の支援を受けました。

今年度は、予め国や北海道に対し災害級の大雪時に速やかな支援を受けられるよう、事前に支援体制の継続について要望しました。

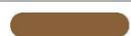
また、石狩地方開発促進期成会や北海道市長会を通じても、各自治体と情報共有及び連携体制を構築し、住民生活及び地域経済基盤の保全への協力について国と北海道へ要望しました。

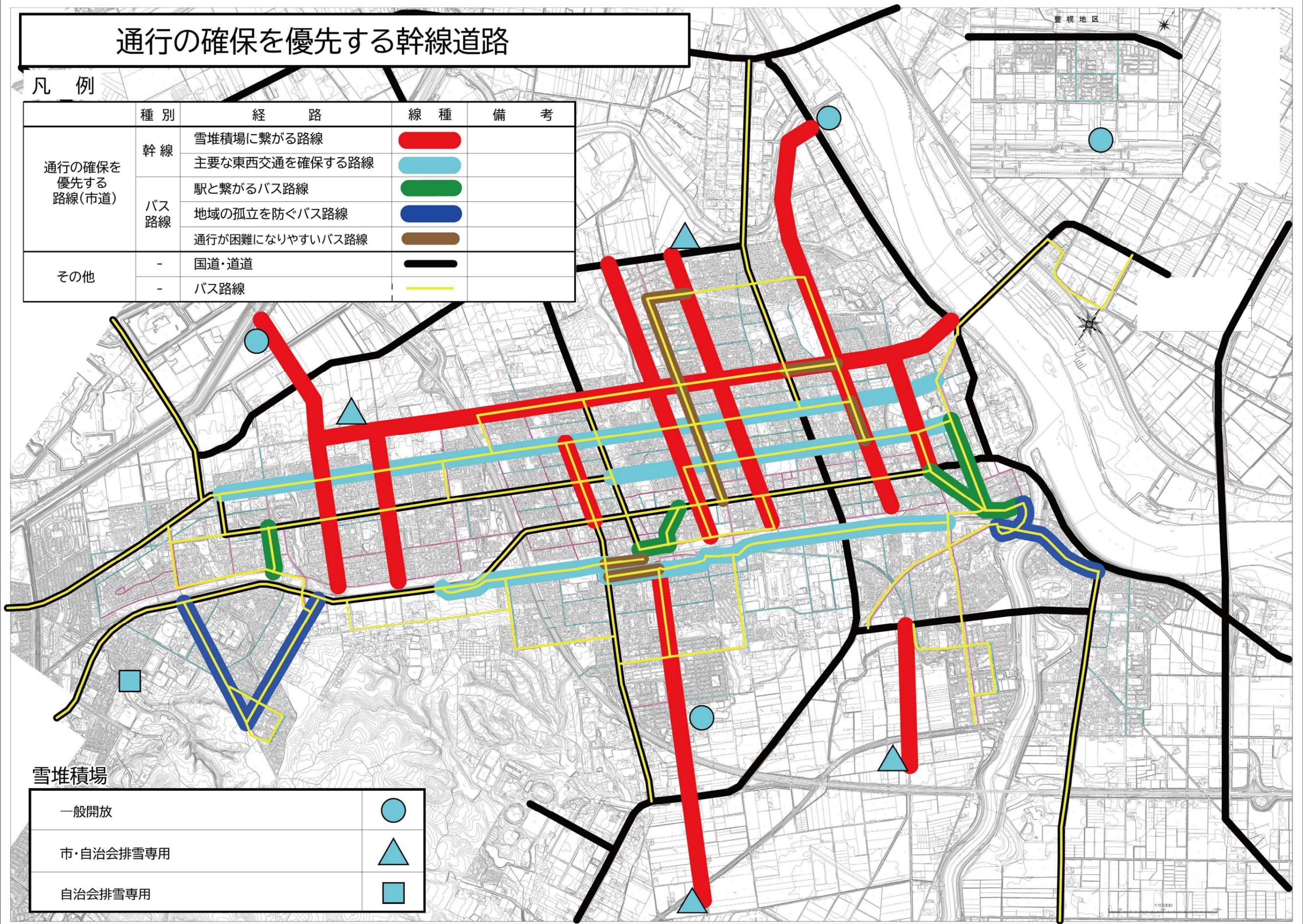


石狩地方開発促進期成会 中央要望

# 通行の確保を優先する幹線道路

## 凡 例

	種 別	経 路	線 種	備 考
通行の確保を優先する路線(市道)	幹 線	雪堆積場に繋がる路線		
		主要な東西交通を確保する路線		
	バス路線	駅と繋がるバス路線		
		地域の孤立を防ぐバス路線		
		通行が困難になりやすいバス路線		
その他	-	国道・道道		
	-	バス路線		



## 雪堆積場

一般開放	
市・自治会排雪専用	
自治会排雪専用	

### 今後の対応 3 幹線道路の早期排雪への対応

昨年度の降雪状況を踏まえ、雪堆積場への運搬路やバス路線などの市内幹線道路の円滑な交通の確保を目的とし、予防的観点から、幹線道路排雪の早期実施について検討します。

### 今後の対応 4 除排雪作業車の増強

これまで、除排雪作業車の経年劣化を踏まえ、除排雪作業車の計画的な更新を行ってきました。今後については、中長期的な更新を進めながら、令和5年度から令和7年度の3か年においては、大型ロータリ、除雪グレーダ、除雪ドーザを各1台ずつ順次増強[※]し、幹線道路の除排雪体制の更なる強化を図ります。

また、交通渋滞や交通事故の配慮から、基本的に大型車両による日中の除排雪作業は行っておりませんが、歩道等の段差の解消、手押し信号機周辺の雪の除去など、軽易な除雪作業に少しでも対応できるよう、日中においても作業が可能な小型ショベルを導入しました。



大型ロータリ



除雪グレーダ



除雪ドーザ



小型ショベル

新たに導入した小型ショベル

#### ■ 小型ショベルの取得方法

##### <令和4年度>

- ・新規購入による取得 . . . 1台
  - ・所管替え[※]による取得 . . . 1台
- 計 2台

※ 除排雪機械の増強については、社会資本整備総合交付金を活用しながら進めていくことを計画しているため、交付金の交付状況等により、計画が変更となることがあります。

※ 他部署で不要となった小型ショベルを所管替えして取得しました。

## 今後の対応 5 雪堆積場の強化

雪堆積場は、その性質から、夜間作業時の騒音・振動等への配慮から、市街地内に設けることが難しい施設ですが、一方、市街地内の運搬排雪の効率性から見ると、なるべく市街地に近い場所にあることが望めます。

このため、雪堆積場は市街化区域※の外で、なるべく市街化区域に近く、幹線道路に面した場所を選定し、配置しています。

石狩川河川敷などの国が管理する敷地内の雪堆積場については、管理者である北海道開発局札幌開発建設部江別河川事務所より、昨年度の降雪量を考慮した河川占用面積の拡大について提案を受けました。

このことから、今年度は、提案を踏まえた雪の堆積エリアの拡張に取り組めます。

また、地域や排雪事業者からの要望を踏まえ、豊幌地区の除排雪体制を強化するため、新たに豊幌雪堆積場の一般受け入れを開始します。



石狩川雪堆積場



豊幌雪堆積場

※市街化区域・・・既に市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域（都市計画法第7条）

## (3) 情報発信の強化

### 昨年度の課題

昨年度は災害級の大雪により、道路の除排雪や運搬排雪の遅延、ごみ収集の休止、自治会排雪の延期、バスの運休など、多岐にわたって、市民生活に大きな影響が及びました。

しかし、緊急的な情報伝達が必要となった事案が多かったことや、対応の検討に時間を要したことから、速やかで広範囲な市民周知が図れず、影響を小さく抑えることができなかったケースがありました。

### 今後の対応 1 除排雪の情報発信の強化

これまで、除雪作業の実施予定及び幹線道路排雪の実施済み路線※は、市ホームページで公表してきました。

情報発信方法の検討の結果、今後はこれまでの対応に加え、無料通信アプリ「LINE」を活用し、江別市の公式アカウントを「友だち登録」した方を対象に、プッシュ型の情報発信を行うこととし、今年度から試験的に運用を開始します。

#### ■ 情報発信方法の検討

作業	公表の対象	今まで	今後
除雪	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページ</li> <li>LINE</li> </ul> 
排雪	実施済み路線		  江別市

※ 幹線道路排雪の実施済み路線の公表については、令和4年1月から取り組みを始めました。

## 今後の対応 2 ごみ収集休止の情報発信の強化

これまでは、ごみ収集の休止情報については、3地区自治会連絡協議会の会長等へ電話連絡するほか、市ホームページやSNS、防災情報提供サービスを活用し、情報を発信していました。

情報発信方法を検討した結果、今後はこれまでの対応に加え、ごみ収集の休止情報についても無料通信アプリ「LINE」を活用し、江別市の公式アカウントを「友だち登録」した方を対象にプッシュ型の情報発信を行うこととし、今年度から試験的に運用を開始します。

### ■ 情報発信方法の検討

今 まで	今 後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話（地区連会長等へ）</li> <li>・ 市ホームページ</li> <li>・ 防災情報提供サービス（メール）</li> <li>・ Twitter</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話（地区連会長等へ）</li> <li>・ 市ホームページ</li> <li>・ 防災情報提供サービス（メール）</li> <li>・ Twitter</li> <li>・ LINE</li> </ul>
   	      <b>江別市</b>

## 今後の対応 3 自治会排雪延期の情報発信の強化

昨年度は大雪に伴う自治会排雪の延期・日程変更の連絡方法は、各自治会の担当役員の方への電話連絡を基本としていましたが、直前の連絡であったことや電話が通じない場合もあり、自治会内にうまく伝わらないケースが生じました。

今後は、これまでの対応に加え、自治会排雪を実施している江別環境整備事業協同組合のホームページにおいて、自治会排雪の実施済みの地区や翌日の実施予定地区などについて公表するよう検討を進めており、今年度から試験的に運用を開始します。

また、自治会排雪の作業現場の責任者を明確にし、自治会排雪の契約の際に、自治会の担当役員へ責任者の連絡先を伝え、自治会と作業現場の速やかな連絡調整の体制を構築します。

## 今後の対応 4 情報発信方法（総括）

情報発信については、通常時と災害級の大雪時において、情報の緊急性に合わせた情報発信が必要です。

各情報については、市ホームページでの公表を基本としつつ、防災関連情報については、「江別市防災情報提供サービス」、生活関連情報については、「LINE」による情報発信を行います。

### ■防災関連情報

- ➔ 市ホームページ等へ掲載  
江別市防災情報提供サービスによるメール・LINE発信※¹

### ■生活関連情報

- ➔ 市ホームページ等へ掲載  
LINEによるプッシュ型通知※²

※¹ 「江別市防災情報提供サービス」からメールを受信するためには、別途、サービスへの登録が必要です。

「江別市防災情報提供サービス」への登録はこちら ➔



※² 「LINE」による通知を受け取るためには、無料通信アプリLINEにて、江別市の公式アカウントの「友だち登録」が必要です。

「LINE」の友だち登録はこちら ➔



## 今後の対応 5 インターネット通信環境が無い市民への情報発信

インターネットを活用した、「LINE」などのツールは、迅速、且つ、広範囲に情報を発信できる利点を持つ一方、インターネット通信環境を持たない方へは、直接、情報を伝えられないという欠点があります。

インターネット通信環境を持たない方への情報発信については、これまでに引き続き、地域の皆様のご協力をいただきながら、周知していきたいと考えています。

なお、防災情報提供サービスは、FAXや電話による情報発信にも対応しているため、防災情報については当サービスの利用により取得が可能です。



## (4) 通学路における児童生徒の安全確保

### 昨年度の課題

昨年度は、災害級の大雪により、通学路の交差点や横断歩道の雪山、歩道路面状況の悪化など、児童生徒の安全確保に配慮を要する状況がありました。

また、歩道除雪の後の朝方の降雪により、通学路の歩道が雪で埋まってしまい、通行が困難な状況が発生しました。

### 今後の対応 1 通学路合同点検

昨年度の大雪時は、建設部と教育委員会が合同で、通学路点検を実施し、危険個所の点検及び危険個所への砂まきや歩道路面の凹凸個所の雪を削るなどの対応などを行いました。

今後については、災害級の大雪時には、これまでの対応に加えて、通学路における交差点等の危険個所の人力除雪等に対応できるよう、全庁から除雪支援に対応する職員を動員し、市職員による直営体制の確立について検討を進めます。

### 今後の対応 2 朝方降雪への対応

これまでは、市内の全出勤の除雪作業は、朝の通勤・通学時間を考慮し、概ね7時までには作業を完了するよう、通常、概ね午前0時までに出勤することとしているため、朝方降雪への対応が難しい状況となっています。

今後については、学校周辺の通学路や駅周辺、公共施設周辺の歩道除雪は、最終出勤時間を概ね午前3時[※]とし、朝方降雪に対して少しでも対応できる体制づくりを進めます。

※ 夜間に運搬排雪の予定がある場合は、作業状況により対応できない場合があります。

## (5) 路線バスの運行

### 昨年度の課題

昨年度は、災害級の大雪の影響により、道路状況が悪化した場合、バス事業者からの要望に合わせて、その都度対応を検討しましたが、市の除排雪体制が限界を超えていたこと等から、対応が追い付かずバスの運休が長期化しました。

### 今後の対応 1 通行の確保を優先するバス路線

昨年度の長期に渡るバスの運休状況を踏まえ、バス事業者が重要と認識する路線を聞き取り、通行の確保を優先します。

#### ■ 通行の確保を優先するバス路線

##### I. 駅と繋がるバス路線

交通結節点となる、大麻駅・野幌駅・江別駅と繋がる路線

##### II. 地域の孤立を防ぐバス路線

文京台方面や東光町方面などの地域の孤立を防ぐ路線

##### III. 通行が困難になりやすいバス路線

大雪時に、バスの通行ができなくなることが多い路線

### 今後の対応 2 バスの運休情報の発信

バスの運休情報は、バス事業者による情報発信がメインでしたが、大雪時の市民への情報発信を強化するため、市による情報提供の方法について検討を進め、市ホームページのトップページへのバスの運休情報の掲載に加え、LINE等のSNSを活用し、プッシュ型の情報発信により市民の皆さまへ速やかな情報提供に努めます。



運休となったバス停

## (6) ごみ収集

### 昨年度の課題

昨年度は、災害級の大雪により、道路状況の悪化、悪天候による八幡8号道路（環境クリーンセンターへつながる道路）の通行止め、自治会排雪の日程変更等の影響により、ごみ収集が休止になりました。

また、ごみ収集休止後の回収方法等の情報がうまく伝わらないケースが生じました。

### 今後の対応 大雪時におけるごみ収集の考え方

これまで、ごみ収集車が生活道路に入れない状況にあったときは、徒歩やソリを使って収集を行い、止むを得ない場合は収集を休止しました。

今後については、これまでの対応に加え、大雪時におけるごみの収集方法について予め取り決め、ごみ収集休止時に合わせて、収集方法について情報発信します。

#### ■ 大雪時におけるごみ収集の考え方

##### I. 大雪当日の収集地区

- ➡ 可能な範囲で収集を行う
- ➡ 収集できない分については、翌日に収集を行う

##### II. 大雪の翌日の収集地区

- ➡ 翌々日に一日延期して収集を行う
- ➡ 市民への情報発信は、本来の収集日の前日に行う



雪で埋まったごみステーション



幅の狭くなった生活道路

## (7) 庁内の情報共有・連携の強化

### 昨年度の課題

昨年度は、災害級の大雪により、これまでの降雪では想定できなかった事案も発生したことから、迅速、且つ、正確な庁内情報の共有が求められました。

### 今後の対応 1 除雪当番会議

これまでは、毎週金曜日に除雪当番会議を開催し、市の除排雪事業を担当する土木事務所と事業者が除排雪事業の実施状況や今後のイベントや気象状況の見通し、今後の除排雪の予定等について協議調整を行っていました。

今後については、大雪の際に、対応を求められる部署についても、必要に応じて除雪当番会議に出席し、庁内各課が抱える問題点等について情報共有、共通認識を図るとともに、意見交換しながら課題の解決に向けて対応を進めていきます。

#### ■主な会議の議題

- ・ 除排雪事業の実施状況
- ・ 各課の問題点
- ・ 今後の気象状況の見通し
- ・ 今後のイベント等の実施予定（成人式、入学試験、卒業式 など）
- ・ 今後の除排雪の予定

### 今後の対応 2 庁内連携体制の強化

昨年度の災害級の大雪対応の経験を踏まえ、これまでの降雪では想定できなかった事案への詳細な対応について迅速な初期対応に繋がるよう、立ち往生や通行止め、家屋からの落雪対応等、各個別事案の業務分担や担当部署を明確にし、庁内連携体制の再構築を図りました。

### 今後の対応 3 電子会議室の活用

これまで、対面会議や個別に行ってきた情報伝達について、電子会議室の活用により、庁内各課が把握する情報を集約し情報共有を図り、大雪時の速やかな対応に繋がります。

## 6. 継続検討事項

大雪に伴う雪対策の課題については、具体の対応について今後も継続して検討を要する課題もあります。

これらの課題については、今後も調査・研究を進め、課題解決に向けて検討を進めます。

### (1) デジタル化を活用した取り組み

大雪時、通学路の歩道除雪の状況把握が難しく、各小中学校が臨時休校の判断に苦慮したことから、検討を進める中で歩道除雪の進捗状況を把握できるよう、除雪機械にGPS機器を搭載するなどデジタル化を活用した対応の有効性について意見がありました。

このことから、児童生徒の安心安全の確保のため適切な休校の判断要素の一つとなるよう、デジタル化の活用事例等について調査・研究を進め、継続して、導入に向けた検討を進めます。

また、自治会等との連絡・調整の方法の一つとして、オンライン会議の開催など、デジタル化を活用した会議のあり方について検討を進めます。

### (2) 民間事業者との連携

災害級の大雪に備え、民間事業者と連携した除排雪体制の構築に向けて検討を進めます。

今年度は、(一社)江別建設業協会及び江別管工事業協同組合の構成企業(江別環境整備事業協同組合の組合員を除く)を対象に、除排雪機械の所有状況や除排雪機械の運転・作業免許を有する従業員、除排雪事業に関する経験の有無などについて、アンケート調査を実施しました。

今後は、アンケート調査の結果を参考に、民間事業者との連携の可能性について検討を進めます。

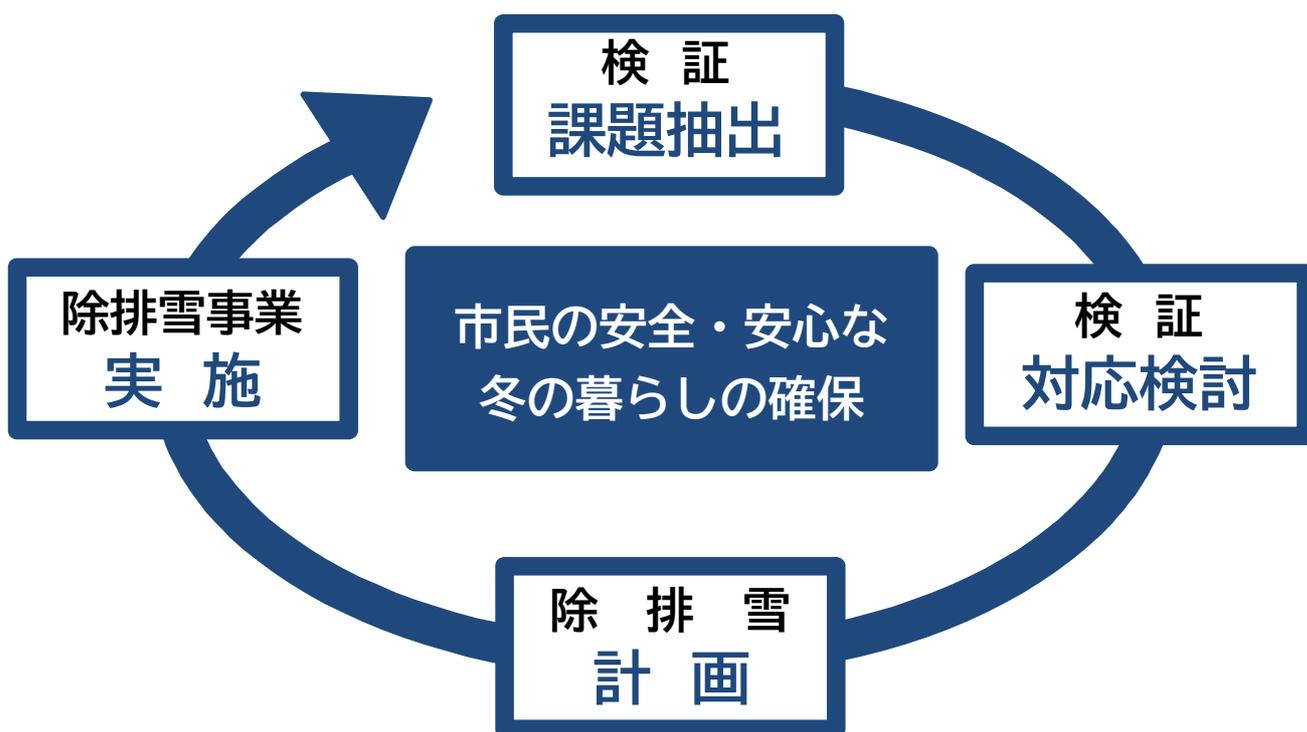
## 7. 今後について

今年度は、令和3年度の大雪を踏まえた雪対策に係る課題について、全庁的に検証を進めてきました。

今シーズンは、これらの検証結果を踏まえて除排雪事業を進めていきます。

雪対策に係る検証については、今シーズンで終わるものではなく、今後も継続して検証を進める必要があると考えていることから、今年度の除排雪事業の実施後には、新たな課題を抽出し、更なる検討を進め、次年度以降の除排雪事業に反映し、「市民の安全・安心な冬の暮らしの確保」に向けて検証を継続していきます。

### ■ 今後の検証のイメージ



## 8. さいごに

冬の安全で快適な道路交通を確保するため、除排雪業務に取り組んでおりますが、近年の社会経済情勢などの変化により、除排雪業務には様々な課題が生じています。

その中でも、大きな課題は、除排雪業務を主に担う建設業の人手不足や高齢化が進んでいることです。

除排雪従事者は、作業が無い日におきましても、急な夜間の降雪に対する除雪作業に備え、待機が必要であり、気が休まる暇がない状況です。

一方で、近年、あらゆる業種で「働き方改革」が進められており、除排雪体制を今後も持続的に維持するためには、従事者の確保のほか、昼夜を問わない従事者の労働環境の改善や、除排雪業務に係る効率化などについて取り組んでいく必要があります。

除排雪業務については、このような課題を抱えていることや、道路利用者の安全確保の観点から、交通量の少ない深夜から通勤・通学時間前の朝7時頃までの限られた時間の中で除雪作業を行うこととなりますことから、昨年度の様な大雪の際には、全ての道路交通の確保に至らないケースが生じてしまいます。

このような状況から、市民の皆さまへご不便やご苦勞をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

お 願 い	
<p><b>不要不急の外出は お控えください</b></p>	<p><b>道路への雪出しは やめましょう</b></p>
<p>災害級の大雪により、大規模な立ち往生や交通障害が発生する恐れがある場合は、<b>不要不急の外出</b>をお控えいただきますよう、お願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪後の<b>道路への雪出し</b> ➡通行に支障をきたし危険</li> <li>・自治会排雪の際の、<b>道路への雪出し</b> ➡作業が遅れ、他の自治会の日程にも影響</li> </ul>



---

## 令和3年度の大雪に関する検証結果報告書

— 令和4年11月 —

江別市建設部土木事務所雪対策課  
〒067-0041 江別市元江別本町 21 番地  
TEL: (011) 383-5900 FAX: (011) 383-6804  
Email: yukitaisaku@city.ebetsu.lg.jp

---